

「研究者・技術者のための文書作成・プレゼンメソッド」の 正誤表(1.1版)

池川 隆司

平成30年10月6日

はじめに

「研究者・技術者のための文書作成・プレゼンメソッド」[1]において、誤りがありました。謹んでお詫びするとともに訂正させていただきます。

まえがき

箇所	誤	正
p. ii, 上から9行目	ベストセラー	ロングセラー
p. ii, 上から12行目	執筆者	著者

第1章 コミュニケーションと技術文書

箇所	誤	正
p. 003, コラム 1.2, 上から8行目	さまざまの	さまざまな
p. 024, 図 1.10 の表題	新聞の例	新聞記事の例
p. 024, 下から3行目	(注 8.5 参照)	削除

第2章 技術文書の作成手順

箇所	誤	正
p. 036, 下から2行目	に各要件	各要件
p. 038, 例 2.1, 上から7行目	「How」の分析結果から	「Where」の分析結果から
p. 042, コラム 2.3, 下から1行目	1) 状況の説明と相手との共有	1) 自身の状況の説明
p. 042, コラム 2.3, 下から1行目	1) 状況の説明と相手との共有	2) 相手の立場と気持ちの理解
p. 042, コラム 2.3, 下から1行目	2) 代替案の提案	3) 代替案の提案
p. 043, コラム 2.3, 上から1行目	3) 折り合いの模索	4) 折り合いの模索

第3章 正確・明瞭な文章の作成技法

箇所	誤	正
p. 065, 表 3.3, 列「説明」の上から4行目	ページ数	ページ番号

第4章 簡潔・論理的な文章の作成技法

箇所	誤	正
p. 073, 4.1.4 節の見出し	論文内の	削除

第5章 図表

箇所	誤	正
p. 087, 上から4行目	電圧は温度に	温度は電圧に

第6章 知的財産と研究倫理

箇所	誤	正
p. 105, 図 6.4	1年6ヶ月以内に審査請求	3年以内に審査請求
p. 105, 図 6.4	権利化後20年	出願後20年
p. 106, 表 6.1, 脚注 a)	文書	文字
p. 111, 脚注 10)	従業者	従業員
p. 113, 例 6.2, 上から9行目	ns3	ns-3
p. 115, 脚注 12)	句読点「 , ,」	句読点「 、 。 」
p. 116, 下から2行目	例えば	(例えば
p. 116, 下から1行目	場合	場合)

第7章 電子メール

箇所	誤	正
p. 123, 注 7.2, 上から7行目	本文では受信者の名前を伏せる時、	削除
p. 128, 例 7.2, 上から1行目	例 1.1 において	例 1.1 のシーン II において

第9章 報告書

箇所	誤	正
p. 145, 表 9.1, 列「目的」, 上から11行, 14行目	するするため	するため
p. 147, 9.2.3 節, 上から5行目	ように、	ような見出しを用いて、
p. 148, 図 9.1 (a), 最初の吹き出し	1つ目の項目	1つの項目
p. 148, 図 9.1 (a), 議事	(1)J 准教授より、	J 准教授より、
p. 148, 図 9.1 (a), 議事		(2) の前の空白行を削除
p. 148, 図 9.1 (a), 議事	(2)J 准教授の助言より、	この助言より、

第10章 学会発表予稿

箇所	誤	正
p. 159, 図 10.1, 問題 A1	本質的問題点は何か。	〇〇を達成するための本質的問題点は何か。
p. 159, 図 10.1, 問題 A2	本質的問題点を解決する既存方式は何か。	上記本質的問題点の解決を試みた既存方式（先行研究例）は何か。
p. 159, 図 10.1, 問題 A3	既存方式で解決できない問題点は何か。	上記既存方式で解決できていない課題は何か。
p. 159, 図 10.1, 問題 A4	上記問題点を解決する方式はどのように実現できるか。	上記課題を解決する方式はどのように実現できるか。
p. 163, コラム 10.2, 上から 2 行目	を掘り出し物	を意味する掘り出し物
p. 165, 下から 4, 7, 8 行目	発表会	学会会合
p. 165, 下から 4 行目	これで	削除
p. 170, 上から 7 行目	責任者が	責任者の名前が

第11章 プレゼンテーションとスライド集

箇所	誤	正
p. 181, 上から 8 行目	見やすくにする	見やすくする
p. 189, 11.5 節、上から 2 行目	聴講者への熱意	聴講者へ熱意

第12章 査読付論文

箇所	誤	正
p. 203, 12.5 節, 上から 3 行目	見る	読む

第13章 特許明細書

箇所	誤	正
p. 215, 下から 3 行目	弁理士は	削除

付録 A PDCA サイクル

箇所	誤	正
p. 225, 上から 1 行目	評価の項目	評価を Check とし、この項目全体を左寄せ

付録 D 論文での概要の書き方

箇所	誤	正
p. 235, 下から 6 行目	理解させるため	理解するため

付録 E ポスター発表

箇所	誤	正
p. 240, 下から 2 行目		空白行の削除

参考文献

- [1] 池川隆司. 研究者・技術者のための文書作成・プレゼンメソッド. 日本評論社, 第1版第1刷, 2018年3月30日.